

令和2年度 人間総合科学研究科生涯発達専攻 カウンセリングコース
入学試験問題

解答上の注意

1. この問題冊子は、表紙も含めて7頁、問題は3問あります。
2. 問題1、問題2、問題3ともに、所定の答案用紙を使用して下さい。
3. 更紙（何も印刷されていない紙）は下書き用です。
4. それぞれの答案用紙の所定の欄には、必ず、受験番号を記入して下さい。
5. ローマ字・算用数字は1マスに2文字記入して下さい。
その場合も、解答字数は1マスで1文字と数えます。
6. 解答し終わった答案用紙は裏返しにふせて、机の左側から順に、問題1-1、問題1-2、問題1-3、問題1-4、問題2、問題3と机の上に置いて下さい。その他の用紙は、机の右側にまとめて置いて下さい。
7. **配布された全ての用紙(問題冊子、答案用紙6枚、下書きの更紙1枚)は、一切、室外に持ち出すことはできません。**

問題 1

以下の7つの用語について、それぞれ100字～200字の範囲で説明しなさい。

- ① 形式的操作期 (operational organizational stage)
- ② 分散と標準偏差 (variance and standard deviation)
- ③ 集団成極化 (集団極性化) (group polarization)
- ④ 自己一致 (self-congruence)
- ⑤ 境界性パーソナリティ障害 (borderline personality disorder)
- ⑥ 人的資源管理 (human resource management)
- ⑦ 内発的動機づけ (intrinsic motivation)

問題2

下記の小論を読んで、以下の問いに答えなさい。

1. 小論の内容にタイトルをつけた上で、200字以内で要約しなさい。
2. 小論の内容を踏まえながら、「ひきこもりについて、どのような理解や対応がありうるのか」、あなたの考えを400字以内で述べなさい。

著作物にあたるため、この部分は公開できません。

<出典：津田大介「論壇時評」『朝日新聞』、2019年6月27日>
一部改変

問題3

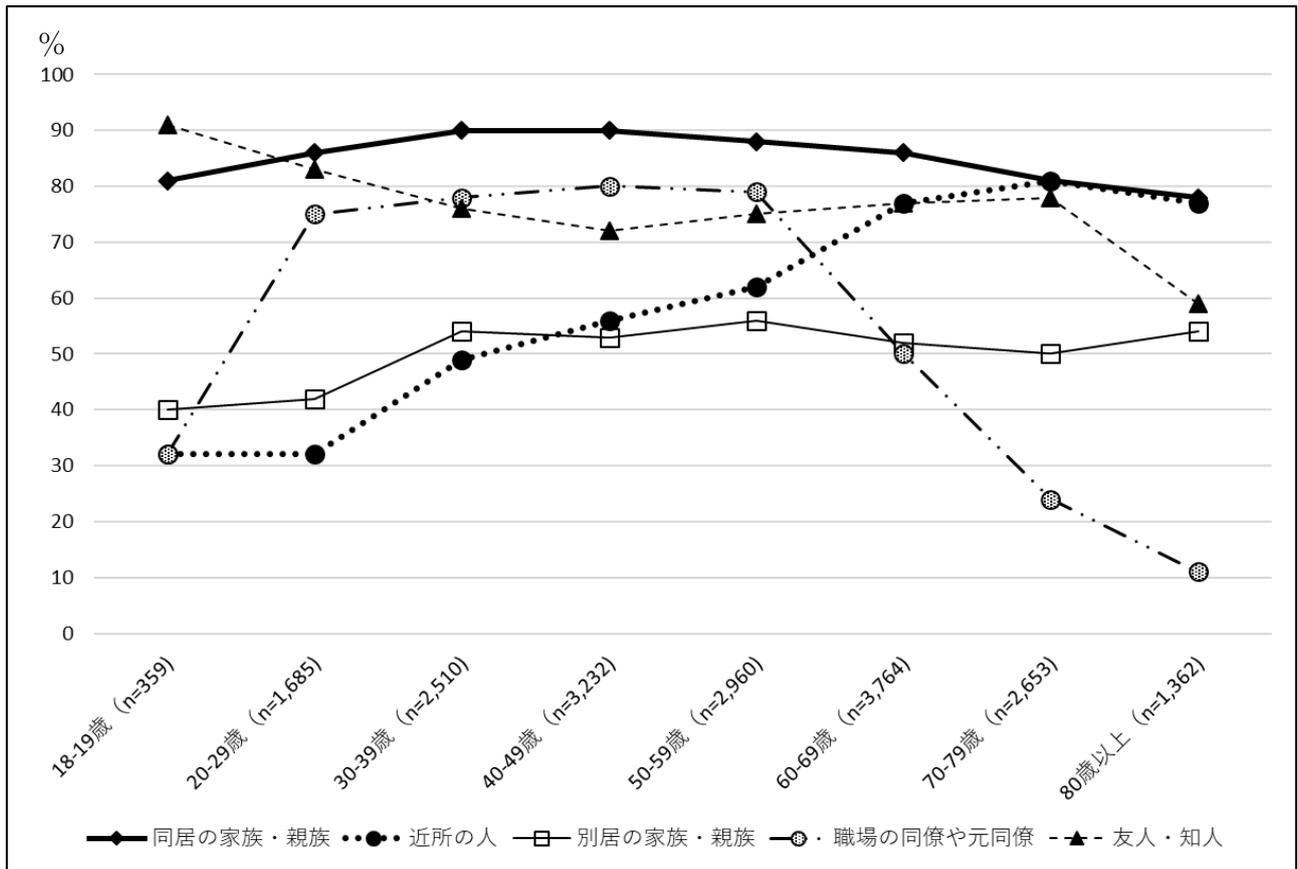
以下の図や表は、国立社会保障・人口問題研究所が、平成29年7月に実施した「生活と支え合いに関する調査」の結果の一部である。調査は、厚生労働省の「平成29年国民生活基礎調査」で全国を対象に設定された調査地区(1,106地区)内から、無作為に選ばれた調査地区(300地区)内に居住する世帯主および18歳以上の個人を対象として行われたものである。世帯票の回収票数は10,959票、個人票の回収票数は22,800票であった。これらの図表を参照しながら、以下の問いに答えなさい。

1. これらの図や表から読み取れる生活と支え合いに関する問題を、300字以内で論じなさい。
2. また、1. で指摘した問題について、より詳細に分析するためには、他にどのような調査を行う必要があると考えるか。あなたが必要だと考える調査の方法や対象、項目などについて、300字以内で記述しなさい。

表1 会話頻度(性・年齢階級別)

男女計	合計(n)	会話頻度(%)			
		毎日	2-3日 に1回	4-7日(1週 間)に1回	2週間に 1回以下
合計	19,347	91.2	5.0	1.6	2.2
18-19歳	371	95.7	3.2	0.0	1.1
20-29歳	1,719	95.8	2.3	0.7	1.2
30-39歳	2,558	96.2	2.1	0.6	1.1
40-49歳	3,324	95.5	2.2	0.8	1.5
50-59歳	3,078	94.1	3.1	0.8	1.9
60-69歳	3,966	88.4	6.2	2.5	2.9
70-79歳	2,847	85.1	9.1	2.5	3.3
80歳以上	1,484	79.8	12.8	4.0	3.4
合計(n)	19,347	17,647	965	309	426

注) 個人表により集計している。nは「ふだんの程度、人とあいさつ程度の会話や世間話をするか」という問いに回答した総数。



注) 個人表により集計している。nは「ここ1か月に直接話をした人は、何人くらいいましたか」という問いに回答した総数。

図1 会話相手（年齢階級別）

表2 頼れる人の有無(サポート種類別)

サポート種類	合計(n)	いない (%)	そのことでは人に頼らない (%)	いる (%)	いると回答した人の頼れる相手%(複数回答)					
					家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・福祉の人	その他の人
子どもの世話や看病	17,138	20.8	12.0	67.2	75.3	7.2	2.3	1.0	0.8	0.7
(子ども以外の)介護や看病	17,493	27.6	8.3	64.1	67.5	3.7	1.3	0.6	3.0	1.1
重要な事柄の相談	18,321	7.2	4.4	88.5	87.3	32.1	1.3	3.1	0.9	1.6
愚痴を聞いてくれること	18,399	6.3	5.6	88.1	79.2	56.9	5.0	19.5	0.7	1.6
喜びや悲しみを分かち合うこと	18,364	5.3	3.1	91.6	87.3	52.2	4.6	13.7	0.3	1.6
いざという時のお金の援助	18,380	16.2	23.9	59.9	77.2	4.8	0.2	1.0	0.2	0.5
日頃のちょっとした事の手助け	18,317	7.4	7.4	85.2	85.1	39.0	15.8	11.9	0.8	1.2
家を借りる時の保証人を頼むこと	17,711	12.6	28.9	58.5	79.3	6.0	0.4	1.1	0.1	0.6
成年後見人・保佐人を頼むこと	17,444	23.2	33.4	43.4	63.1	3.1	0.2	0.3	0.8	0.8

注) 個人票により集計している。「いると回答した人の頼れる相手%(複数回答)」の分母は「いる」と回答した者と「いない」と回答した者の合計。

調査データ：生活と支え合いに関する調査（国立社会保障・人口問題研究所 2018）